

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部研究科等番号・名称：23・海事科学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> I 教育水準 4. 学業の成果 [判断理由]</p> <p><b>【原文】</b> …、平成16～19年度の評価結果(判定)を変えうるような顕著な変化が認められないことから、判定を第1期中期計画目標期間における判定として確定する。なお、判断理由については、以下のとおり変更する。</p> <p>[判断理由] …、しかし、平成16～19年度評価時の現況調査表に記されたアンケート調査の最新の結果は示されず、そこで課題とされた「講義内容の充実度」「基礎から応用までの構成」の改善が行われていると認められない。また、全学共通授業科目についての学生アンケート調査結果は全ての項目で上昇が見られるものの、学部の専門科目を含めた学習成果についての学生の評価が実施されていないため、判定を変えうるような顕著な変化が認められないことから、期待される水準を下回ると判断される。</p> <p><b>【申立内容】</b> 判断理由の記載内容に事実誤認があるため、【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p><b>【修正文案】</b> …、平成16～19年度の評価結果(判定)を変えうるような顕著な変化が認められたことから、判定を「期待される水準にある」に変更し、第1期中期計画目標期間における判定として確定する。なお、判断理由については、以下のとおり変更する。</p> <p><b>【判定】</b> 期待される水準にある</p> <p>[判断理由] …、平成16～19年度評価時の現況調査表に記されたアンケート調査の最新の結果は示されなかったものの、平成20年度及び平成21年度に実施した「神戸大学全学共通授業評価アンケート調査」において、平成19年度に比して、学業の成果に関する全ての項目で上昇が見られることから、これらの取組が機能しているため、判定を変えうる顕著な変化が認められたことから、期待される水準にあると判断される。</p> <p><b>【理由】</b> 平成16～19年度評価時に示したアンケート結果は、学部独自に、海事科学部一期生のみに対して、学生の授業に対する満足度に重点を置いて、踏み込んだ内容のアンケートを実施したものであった。 「現況分析における顕著な変化についての説明書」で提出した「神戸大学全学共通授業評価アンケート調査」については、全学的に共通の項目で毎学期行われている学部生全員を対象としたアンケートであり、全学共通教育の授業科目だけでなく学部の専門科目を多数含めて実施している。 よって、判断理由の記載内容に事実誤認があり、平成20年度及び平成21年度に実施した「神戸大学全学共通授業評価アンケート調査」において、平成19年度に比して、学業の成果に関する全ての項目で上昇が見られる結果となっている。 これらのことから、平成16～19年度評価の判定を変えうる顕著な変化が見られると判断する。</p>	<p><b>【対応】</b> 判定は原案のとおりとする。ただし、意見を踏まえ、判断理由の一部を修正する。</p> <p><b>【理由】</b> 本観点は学生からの意見聴取の結果等から、学業の成果について判断するものであるが、現況分析における顕著な変化についての説明書の記載では、学業の成果を判断する上で十分なものではなく、判定を変えうるまでには至っていないため。なお、正確を期すため、以下のとおり修正する。</p> <p>[判断理由] 「学業の成果に関する学生の評価」については、授業ピアレビュー等の教育方法等の改善の取組が進められている。しかし、平成16～19年度評価時の現況調査表に記されたアンケート調査の最新の結果は示されず、そこで課題とされた「講義内容の充実度」「基礎から応用までの構成」の改善が行われていると認められない。また、神戸大学全学共通授業評価アンケート調査においては、全ての項目で上昇が見られるものの、学習成果についての学生の評価が実施されていないため、判定を変えうるような顕著な変化が認められないことから、期待される水準を下回ると判断される。</p>